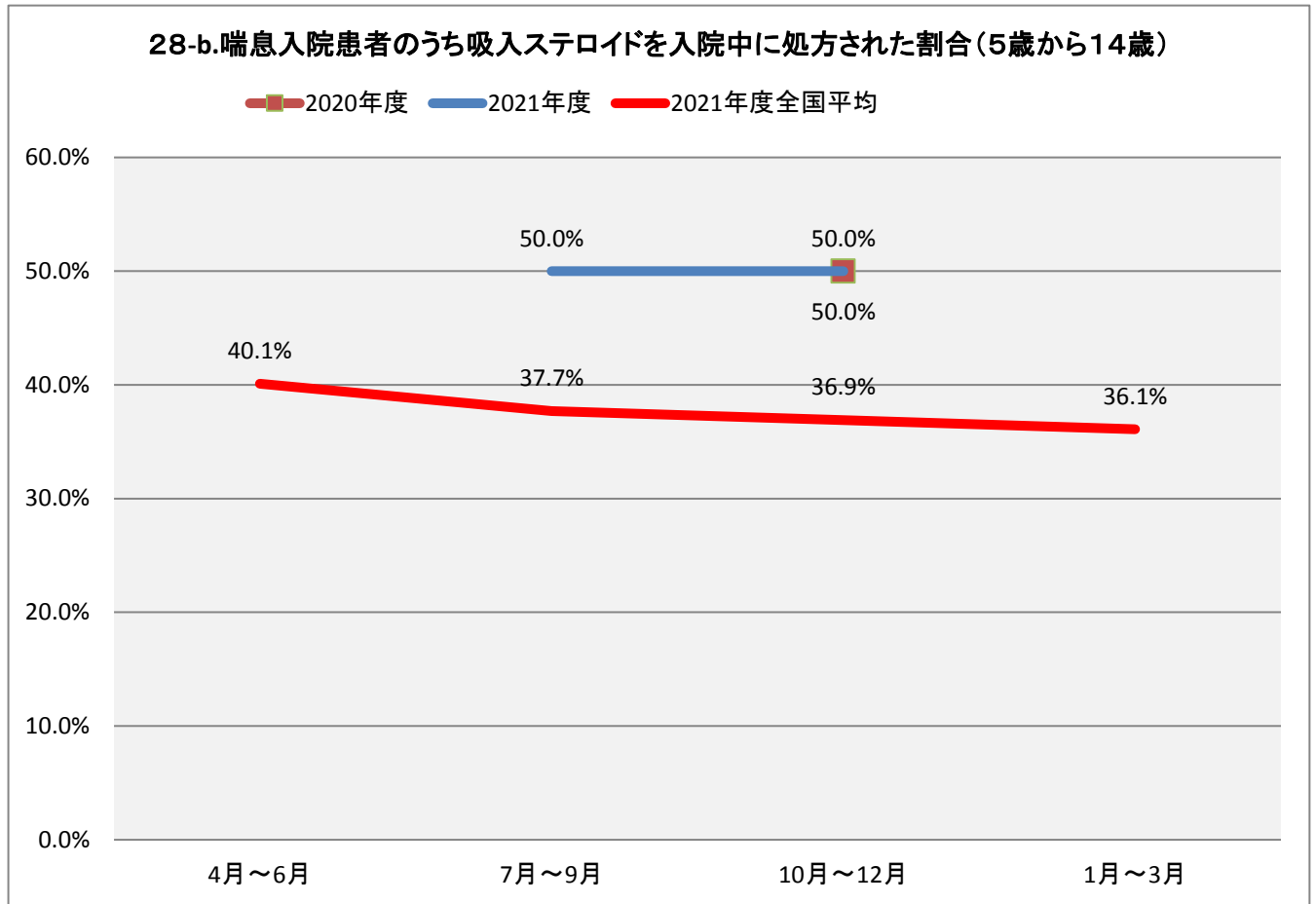


28-b.喘息入院患者のうち吸入ステロイドを入院中に処方された割合(5歳から14歳)

(1) 調査結果



調査期間	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
2021年度		50.0%	50.0%	
2020年度			50.0%	
2021年度全国平均	40.1%	37.7%	36.9%	36.1%

※空白箇所は当院対象患者なし

(2) 指標の説明  
 喘息患者さんにおいては、吸入ステロイド薬とピークフローモニタリングによる自己管理が治療の基本となります。また、急性発作期にはステロイド薬の内服や点滴が必要です。  
 2019年度までは分母を「5歳以上の喘息患者のうち、喘息に関連した原因で入院した患者」としていましたが、2020年度は、「喘息を原因とする15歳以上の入院患者数」「喘息を原因とする5歳から14歳の入院患者数」に変更となりました。

(3) 定義  
 分子: 分母のうち、入院中に吸入抗炎症剤の処方を受けた患者数  
 分母: 喘息を原因とする5歳から14歳以上の入院患者数